

2022年度 全国科学博物館活動等助成事業 実施報告書

2023（令和5）年7月15日

1. 事業課題名

この木なんの木？ -美山公園植物ラベル作りプロジェクト-（202204）

2. 事業概要

美山公園内の植物にラベルを付ける事業を通して、美山公園の整備を進め、事業参加者や来園者に植物のことを知ってもらい、自然に対する興味を喚起する。また、糸魚川ジオパークにみられる植物の基礎データ作成の一助とする。

3. 代表者名・組織名・職名

氏名：茨木洋介

組織名：糸魚川フォッサマグナミュージアム

職名：主査

4. 事業背景と目的

糸魚川市で取り組んでいるジオパーク活動は、地質や地形に関する遺産を活用しておこなう地域おこしの活動であるが、対象とするのは地質や地形だけではなく、動植物や歴史、文化なども含まれる。糸魚川市ではヒスイやフォッサマグナなど、地質をテーマとした取り組みは盛んに行われているが、動植物を対象とした取り組みは、専門家が少ないこともあり、あまり実施されてこなかった。今回の事業は、植物をテーマとした普及行事を実施し、多くの人に興味・関心を持ってもらうことを目的とし、また、市内に生育する植物の基礎データを作成することを目指す。

また、植物に詳しい方々と市民が、観察会で説明を聞いたり質問したりする活動を通して、観察会がサイエンスコミュニケーションの場となることを目指す。

5. 事業実施内容

市民を対象に、美山公園の植物観察会を実施した。

植物観察会の告知は、チラシ 2000 枚を作成して市内小中学校および公共施設に配布したほか、糸魚川市の広報紙「おしらせばん」およびフォッサマグナミュージアムのホームページで行ない、受付は申し込みの先着順とした。

観察会の実施のために、市内の植物に詳しい方々（「きらら自然の会」メンバー）にスタッフとして参加いただいた。

また、ラベルを作成する植物の選定のための打合せを実施した。

糸魚川ユネスコ
世界ジオパーク

この木何の木?

美山公園の植物に
ラベルを付けよう

観察会編

2022年 **6月11日** 土 9:00~15:00
小雨決行

集合場所 フォッサマグナミュージアム前 9:00

会場 美山公園 (ミュージアム前~まがたまの池周辺)

内容 美山公園内の植物を観察し、今年秋に植物名のラベルを付ける植物を選びます。
*11月5日(日)に「ラベル付け編」を開催予定です。

講師 野紫木 洋さん (ジオパークガイド)、きらら自然の会

持ち物 昼食、飲み物、筆記用具、雨具

その他 歩きやすい靴・服装でご参加ください。

参加費 100円 (保険料)

申込方法 電話または二次元コードでお申し込みください。

申込期限 6月4日(土)まで

申込・問合先 フォッサマグナミュージアム 電話 025-553-1880
*電話受付 10:00~16:00
*定員 20人 (申込多数の場合は抽選となり、はずれた場合のみ 6月6日(日)までに連絡いたします)

主催 糸魚川ジオパーク協議会
この行事は「自然科学博物館法第48条第2項」の規定に基づいて実施します。

行事の告知のために作成したチラシ (A4 サイズ)

①植物観察会 (観察会編)

開催日 6月11日(土)

開催時間 9:00~15:00

会場: 美山公園 (フォッサマグナミュージアム前~まがたまの池周辺)

スタッフ: 茨木洋介 (フォッサマグナミュージアム学芸員)

野紫木洋氏 (ジオパークガイド、きらら自然の会顧問、日本哺乳類学会会員)

笠原勇一氏 (きらら自然の会会長)

倉又良秋氏 (きらら自然の会会員)

外立博子氏 (きらら自然の会会員)

参加者: 9人 (大人9人)

実施内容

美山公園にどのような植物が生育しているのか確認し、どの植物にラベルを付けるか選定することを目的とした。

フォッサマグナミュージアムの玄関前に集合し、9時から、講師の紹介、観察会の目的とコースの説明をして、観察会を開始した。当日は曇りであったが、暗くはなく、快適に観察を行うことができた。

参加者はスタッフから植物について説明を聞きながら公園内の植物を観察した。参加者は9名と、想定よりやや少なかったが、スタッフの目が届き、参加者全員に説明内容を伝えることができた。

公園内で昼食をとり、14時30分ごろまで観察し、終了のあいさつの後、解散した。



植物観察会の様子

②打合せ（ラベルを付ける植物の選定）

開催日 10月30日（日）

開催時間 16:30～18:30

会場：青海少年の家（糸魚川市青海 614-1）

スタッフ：茨木洋介（フォッサマグナミュージアム学芸員）

野紫木洋氏（ジオパークガイド、きらら自然の会顧問、日本哺乳類学会会員）

笠原勇一氏（きらら自然の会会長）

倉又良秋氏（きらら自然の会会員）

実施内容

16:30 から、青海少年の家の研修室で、ラベルを付ける植物を選定する打合せをおこなった。美山公園のフォッサマグナミュージアム前からまがたまの池周辺にある植物のうち、高木 46 本にスプリング式のラベル、低木 28 本にポールに取り付ける形式のラベルを付けることとした。

③植物観察会（選定編）

開催日 11月5日（土）

開催時間 9:00～15:00

会場：美山公園（フォッサマグナミュージアム前～まがたまの池周辺）

スタッフ：茨木洋介（フォッサマグナミュージアム学芸員）

野紫木洋氏（ジオパークガイド、日本哺乳類学会会員）

笠原勇一氏（きらら自然の会会長）

倉又良秋氏（きらら自然の会会員）

外立博子氏（きらら自然の会会員）

参加者：6名（大人6人）

実施内容

9時からフォッサマグナミュージアム玄関前で、講師の紹介、今日の行事の目的、コースを説明し、観察会をおこなった。

打合せでラベルを付けることにした植物を中心に、6月に観察した時と比べて変化している植物についても観察した。観察範囲内の複数個所にみられる植物には、複数枚のラベルを作成し取り付けることとした。

公園内で昼食をとり、14時ごろまで観察を続け、終了のあいさつの後、解散した。



植物観察会（選定編）の様子

6. 成果

観察会の参加者には、観察会を通して、美山公園に生育する植物や、公園内の季節による変化など自然環境について知識を深めていただけたと考える。

観察会の中で、植物に詳しいスタッフと参加者が、植物や自然に関して質問、回答をすることにより、サイエンスコミュニケーションの場が提供できた。

また、今回の事業を通して、美山公園内の植物の種類について確認することができた。公園造成時の資料は存在するが、造成から30年を経て、枯死した植物や新たに植樹した植物があり、現在の状況を把握するよい機会となった。

7. 今後に向けて

植物ラベルの取り付けは、改めて市民参加型の行事を企画する予定である。

行事の参加者について、各回の定員を20名としたが、1回目は9名、2回目は6名と、参加者を十分には集められなかった。今後同様の事業を実施する場合は、告知の方法について、SNSをより積極的に活用するなど、より効果的な方法を取り入れる必要がある。

今後も動植物など自然をテーマにした教育普及事業を積極的に展開し、糸魚川ジオパークにあるのはヒスイやフォッサマグナなど地質に関する見どころだけではなく、ジオパークの要素のひとつである動植物など豊かな生態系もあることを、より多くの方々に知らせていきたい。

以上